

KISO

機 巢 Vol.31

目 次

学校の近況と現状

タイムカプセル物語3

モノづくりが好きな
生徒達

同期の仲間と
(第60回高専祭)

2024年度高専祭

DX 行政のバグ (2)

高専人会の報告

MECAD ゴルフコンペ

編 集 後 記



機械工学科の現状について

機械工学科 山田実

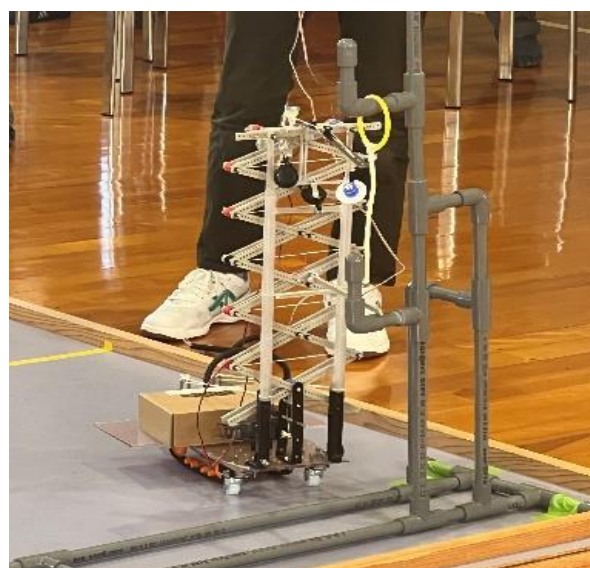
【きのくにロボットコンテスト】

2024年10月13日(日)に全日本小中学生ロボット選手権東海地区予選大会を機械工学科の公開講座として開催しました。この大会は12月に和歌山県で行われるきのくにロボットフェスティバルでの全国大会予選会として実施しています。参加者は8月11日に本校でロボット講習会を受講してから、ロボットの製作に取り組みました。当日は午前の小学生部門に17名、午後の中学生部門に7名が出場しました。今回は課題がむずかしかったのか、講習会に参加した児童・生徒のうちロボットを作り上げて競技会に参加した方は半数しかありませんでした。その分、競技でロボットが点数を入れるたびに会場から歓声が上がっていました。

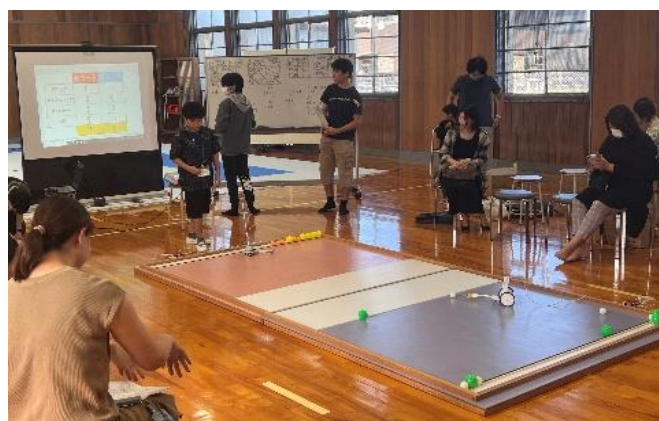
小中学生のころ、この大会に参加し本校に入学した学生もスタッフに加わり、大会を運営してもらいました。出場していた大会の運営に携わるというのも学生にとって貴重な体験かと思います。なお、スタッフのお弁当を機楽会から援助していただきました。ここにお礼申し上げます。



小学生部門のロボット



中学生部門のロボット



小学生部門の競技会の様子

【高専祭】

心配された雨も降らず、高専祭が11月26日（土）、27日（日）の両日行われました。今年も多くの卒業生に来ていただき、ありがとうございました。

バザーでは5年機械工学科伝統の「ちょんぼ」も出店しました。値段はうどんが300円、きつねうどんが350円です。屋外のバザーでは2年機械工学科がクレープ、5年機械工学科有志が小籠包を発売しました。

専門展では機械工学科は「円盤とひも」をテーマに展示を行いました。動滑車を使ったエレベータ、プーリーをいくつか使い1つのモータでいろいろなものを動かす模型、ひもを引っ張ることで動くからくり人形などを展示し、来場者にプレゼンしました。専門展の賞はいただけませんでしたが、製作していく過程ではそれぞれの展示に工夫を凝らし、試行錯誤しながら製作していったことが見て取れました。



ちょんぼ



機械工学科専門展

タイムカプセル物語 3 – 52年の時を超えて –

8期生 犬飼宏好

「メールマガジン機巢 29号」に「タイムカプセル物語 ー 混迷から奇跡がー」と題し、機械工学科8期生が在学中に高専構内に埋めたタイムカプセルの埋設場所が特定できたところまでお伝えしました。今回はその後の奮戦記です。

1. タイムカプセル掘り出し作業

タイムカプセルの埋設場所が判明したことから、岐阜高専施設係様と掘り出しに向けた打ち合せを7月16日（火）に行いました。掘り出す作業手順、使用する重機の仕様、掘り出した後のコンクリート壁の解砕・原状復帰手順などの説明を行い、了解を得ました。

掘り出す時期については、夏休み期間中であれば学校への影響が少ないとの意見を頂き、8月19日（月）となりました。

当日はタイムカプセル搜索隊、伊津野岐阜高専校長様をはじめとする学校関係者様、機巢会役員様などの皆様方がタイムカプセルを一目見ようと集まっていただけました。

9時から作業を開始し、防草シートを剥がし、シャベルで丁寧に土を取り除いたところ、鉄板が現われ、表面には「TIME CAPSULE 1972.11.5」と表示があり、その鉄板を取り除くとタイムカプセル本体が現われました。多くの搜索隊メンバーが土手に登り、しばし、写真撮影会となりました。

タイムカプセル本体にロープを掛けて重機でつり上げ、土手から平地に下ろし、上蓋に付いていたボルト・ナット29本を外し、上蓋を持ち上げましたが、上がりません。持ち上げようとした私の腕力が足りないのかと思いましたが、上蓋と本体の間にあるゴムパッキンが密着していたためでした。工具を用いてゴムパッキンをタイムカプセル本体から剥がし、再度持ち上げたところ、上蓋が外れ、52年前の空気とともに収納物が現われました。

収納物は虫食いや汚れも無く、見学に来られた皆様方がタイムカプセルを覗き込み、「きれい！」「すごい、保存状態が良いよ！」「52年前のままだ！」など、驚きの声をあげられました。



タイムカプセル本体



縮尺 1/450 岐阜高専ミニチュアモデル

最初に取り出したのは「縮尺 1/450 の岐阜高専ミニチュアモデル」です。当時の岐阜高専全体を縮小した模型で、校舎や体育館、グラウンド、学生寮などが精巧に再現されていました。また、タイムカプセルを第8回高専祭のイベントとした理由を記載した資料、将来の人口増加をコンピュータで予測した結果を記載した資料、写真、生活用品や当時の雑誌など、様々な物が入っていました。しばし、収納物を眺め、昭和の時代に戻った後、場所を変えて収納物の整理、記録、写真撮影を行いました。なお、この掘り出し作業の様子は中日新聞岐阜版（8/20）に「52 年前の記憶鮮やかに」と題して掲載されました。

一方、タイムカプセルを保護していたコンクリート壁の解砕・原状復帰には手間取りました。近くに高圧ケーブルが埋設されており、慎重に解砕作業を進めたことに加えて、鉄筋で補強されており、多くの時間を要しました。解砕、ガラ出し、穴埋め、防草シート張り替えと作業を進め、全ての作業が完了したのは翌日の午前 10 時頃でした。

2. タイムカプセルを掘り出して分かったこと

1) 埋設日

タイムカプセル本体及びこれを保護していた鉄板に「1972.11.5」と記されており、私たち8期生が3年生の時に高専祭のイベントで埋めたことになります。しかし、私たち搜索隊の記憶では4年生の高専祭だと思っていましたので、地面からタイムカプセルを掘り出した時には、搜索隊全員がビックリしました。

なお、前回のメールマガジンでは「50 年の時を超えて」と題していましたが、今回から恥ずかしながら「52 年の時を超えて」に変更しました。

2) 収納物

約 200 点がタイムカプセルに収納されていました。第8回高専祭のイベントで掲示した資料、初代校長先生の飯沼弘司校長様や当時お世話になった永井直記教授様、井道玉温助教授様などの色紙、私たちの担任の内田広顕先生様の新聞記事、写真集、生活用品などがありました。また、各学科・各学年にも声を掛けていたので、私たち機械工学科8期生以外の個人の所有物や寄せ書きなどもありました。

高専祭にはこれらの中から、個人所有物と寄せ書きを除いた約 50 点を展示しました。

3) 劣化防止対策

タイムカプセル内に保管されていた資料には、ドライアイスを入れてガス置換を行ったとありました。タイムカプセルの上蓋にはバルブが取り付けられており、当初は不思議に思いましたが、その理由が分かりました。おかげで収納物の虫食いや劣化が防止されたと思います。また、タイムカプセルがコンクリート製の大きな入れ物（ブロック塀のような囲い）に納められていたことも寄与したものと思います。

このイベントの発起人（故人）の入念な対策には感心するばかりです。

4) 大阪万博がきっかけ

1970 年に大阪万博が開催されました。このメールマガジンを読んでいる多くの皆様が、その一大イベントを経験されたことと思います。万博で松下電器産業(株)（現：パナソニック(株)）がタイムカプセルのイベントを企画していました。タイムカプセルに保管されていた資料には、このイベントを参考にして（レベルはかなり違いますが・・・）企画したと記されていました。

なお、松下電器産業(株)のタイムカプセルは大阪城の天守近くの地中深くに埋められており、5,000 年後に開封する計画です（タイムカプセル内に収納されていたパンフレ

ットに記載)。

5) 記憶は正しかった

去年の夏頃、タイムカプセルを搜索するにあたり、搜索隊メンバー全員から情報収集を行いました。(下記の内容はメールマガジン Vol28 に記載)

① 埋設場所

- ・体育館の北側で武道館横にあるフェンスの盛り土あたり
- ・地表から30～50cm程度の深さに埋めた模様

② 形状及び材質

- ・円筒形で高さ100cm以下、直径は70～80cm程度と記憶
- ・材質はステンレスまたはアルミニウム

③ 収納物

- ・機械工学科8期生が収めた品物
- ・その他、当時の機械・電気・土木・建築の各学科の品物も入っている可能性あり

今回、タイムカプセルを掘り出した結果、全てが当てはまっていました。50年以上前のことですが、メンバーの記憶を寄せ集めた結果は正しかったと感心するばかりです。ただし、「埋設場所がここだ!」と判明するまでの迷走期間が長過ぎました、反省!!

それから、タイムカプセルを掘り出してみて最も分かったことは、「タイムカプセルに関する記憶があまり無いということは、如何にこのイベントを発起人任せにしていたか!」です。搜索隊メンバーの多くから資料を見て「すごいことをやってたんだ!」「こんな知らなかった!」との発言がありました。

52年前の出来事なので忘れてしまっていた点もあるでしょうが、本当に申し訳ない話です。

3. 高専祭で展示

10月26日(土)、27日(日)に開催した第60回岐阜高専「高専祭」に参加しました。

第二体育館の一部をお借りして「タイムカプセル物語 -52年の時を超えて-」と称してタイムカプセルを掘り出すまでの経緯や掘り出し時の写真、タイムカプセル本体と収納物を展示しました。

周囲には在校生4年生主催の専門展が建ち並び、多くの来場者が体験型イベントなどで盛り上がっている中、いささか場違いの雰囲気ではありましたが、約200名の皆様が私たちの展示コーナーに立ち寄られ、閲覧されました。

掘り出すまでの経緯を纏めた資料を興味深く読まれたり、タイムカプセル本体を覗き込まれたり、ミニチュアモデルに感心されたり、少年マガジンやビッグコミックなど、当時の雑誌を懐かしそうに読まれたり、様々でした。

興味深くタイムカプセルを写真に収められている女性がおられ、「実は、私は1972年11月5日生まれで、私が生まれた日に素晴らしいことをされていて驚きました。」と話されました。それを聞いた私たちも偶然の出来事ですが、嬉しく感じました。

同会場でタイムカプセルに収められていた寄せ書きの閲覧も行いましたが、訪れたOB・OGの皆様が昔話で盛り上がっている姿を見て、楽しいひとときを提供できたと思いました。

なお、高専祭の様子は岐阜新聞(10/27)に「青春の品々 色あせない」と題して掲載されました。



タイムカプセル展示コーナーにて（8期生）



収納物を興味深く見るOBの皆様

4. タイムカプセル交流会開催

10月27日（日）のお昼（12:30～13:30）に図書館2階の「ラーニングcommons」にてタイムカプセル交流会を開催しました。

タイムカプセル掘り出しにご支援・ご協力を頂いた皆様方をお招きして、掘り出すまでの約1年半の出来事を紹介した後、立食パーティという内容でした。

高専祭開催中ではありましたが、伊津野岐阜高専校長様、若鮎会の宇佐美会長様、機巢会の飯沼会長様と役員の皆様方、末永電気(株)様、浅川建設(株)様にご臨席いただきました。

タイムカプセルを掘り出すまでの苦労話や、どんな収納物が収められていたのか、また、自分が収めた品物の記憶が残っていたのかなど、タイムカプセルを話題にして、岐阜高専様・若鮎会様・機巢会様の幹部の皆様方と普段ではできない交流を図ることができ、搜索隊メンバーとしても貴重な時間を過ごすことができました。

ささやかな会ではありましたが、ご臨席いただいた皆様方に感謝の気持ちを伝えられたものと思っています。

5. 最後に

1972年当時のタイムカプセルイベント発起人の原田茂夫氏は残念ながら既に他界しておりますが、2000年頃に掘り出したいと語っていたと聞きました。

昨年の機巢会様定期総会での提案から約1年半。数々のトライ＆エラーを重ねて参りましたが、やっと目的を達成することができました。かなり遅くなりましたが、彼の意志に応えられたものと思っています。これもひとえに岐阜高専様、機巢会様、若鮎会様、末永電気(株)様、浅川建設(株)様など、多くの皆様方のご支援・ご協力のおかげです。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

そして、今回をもちまして「タイムカプセル物語」は完結となります。

3回にわたり、メールマガジン機巢に寄稿させていただき、ありがとうございました。



タイムカプセル交流会

モノづくりの好きな生徒達

I 部：教員になったわけ

32期 増井 勇一郎

私が、高専を卒業する平成13年（2001年）は、就職氷河期^{*}であったこともあり、特に進路について考えていませんでした。何もアクションを起こさない学生でしたので、両親に相当迷惑をかけた印象しかありません。「とりあえず就職は見送った方が良いのでは・・・」という風潮もあり、進学することにしました。そして複数の国立大学の編入試験を受けました。私の姉も金沢で学生をしていたので、住まい等を引き継ぐ形で金沢大学を選びました。大学在学中のインターンシップが結果的には転機となりますが、高専で同級生だった、三浦和久氏が高専卒で入社していることもあり、村田機械株式会社（本社：京都）に3週間参加し（当時は日当が支給で、食事等もVIP待遇）、全国の大学生と、予算・加工無制限で取り組む課題「ロボット製作」に没頭しました。「これ面白いな、この会社ならやっていけそう」などと考え、卒業後入社しました。入社後の配属は間接部門へ決まり、新入社員とも触れ合う機会が増えていきましたが、同期で集まった時の飲み会で、年々採用される高校生の「エネルギー」が低下していると話題になり、会社を辞めて学校現場に飛び込んで、「エネルギー増大作戦」を決行する決心をしました。そんなエピソードが私にはあります。今の生徒には早い段階から目標は持ってほしいと思っています。私自身が、もっと世の中と自分に向き合っていればよかったと自問自答する時がありますが、後悔はしていません。

{^{*}就職氷河期世代は 1993 年から 2005 年に学業卒業で社会に出た世代(高卒者ならば 1975 年から 1985 年ごろ、大卒者ならば 1970 年から 1980 年に生まれた人たち：引用元 Wikipedia)}

II 部：今どきの生徒達が考えていること

様々なシーンで生徒たちに聞き続けていることがあります。それは「将来の夢語れる人いる？」という question ですが、なかなか手があがりません。語ってくれる生徒は本当に稀です。そんな中で、なぜ生徒達が工業高校に入学したのか記事にしました。（全員に聞いている訳ではありません）

- 理由1 : 工作やプラモデルなどの、ものづくりが好きだから
- 理由2 : 「手に職」をつけて、お金を稼いでもっとお金持ちになり、
家族と裕福に暮らしたい
- 理由3 : 部活動をやりたいから
- 理由4 : 勉強が嫌いだから
- 理由5 : なんとなく、友達が行くから

というような理由を述べる生徒があり、特に「ものづくりが好き」・「手に職」という理由が多くを占めていると感じていますが、20年くらい前は「夢を語る生徒」や「日本のモノづくりを俺様が切り拓きたい」、中には「ノーベル賞を取りたい」という使命感や大きな夢に向かう生徒が多かった記憶があります。現状は残念ながらそういう生徒は減って来ています。生徒の身近に影響力を与える先輩との接点や、夢や希望を語る時間が無くなってきていることも原因だと思います。

私が、高専時代は、憧れの先輩は複数いらっしゃいました。特に入学したての頃は、先輩方のオーラがすごすぎて度肝を抜かれました。私の場合は幸せなことに現在でも「あの先輩みたいになりたい」「先輩みたいな仕事がしたいな」という憧れがあります。今の生徒たちはそういったことが無いと話していました。それどころが、逆に「先輩みたいになりたくない」というイメージが先行しているという残念な実情があります。(編集委員の先輩方・機楽会の先輩方には憧れています。)

「モノづくりは人づくり、人づくりは国づくり」在学中に良く聞いた言葉です。私の学生時代もそうでしたが、運動に励む生徒、趣味に没頭する生徒やアルバイトをする生徒、皆がそれぞれの目標に向かって取り組む姿は今も同じです。モノづくりに取り組む生徒は、手先の器用さや創造力を活かして、作品を作り上げる喜びを感じています。今回は、モノづくりが好きな生徒をフォーカスしてみました。

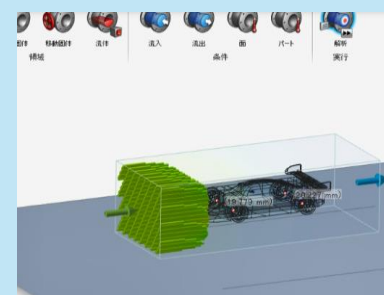


高専4年：大型2輪取得

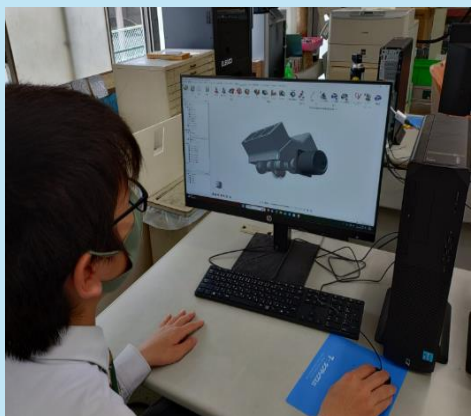
A 寮前 HONDA:CBR1000F



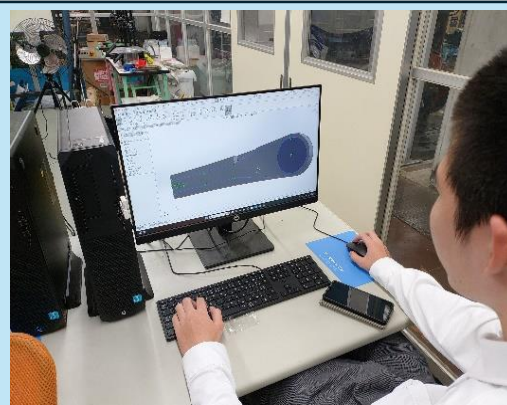
ラジコンを3Dスキャン



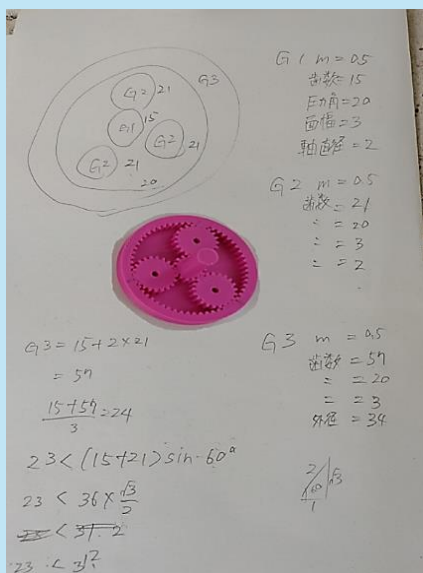
流体解析（空力特性の研究）



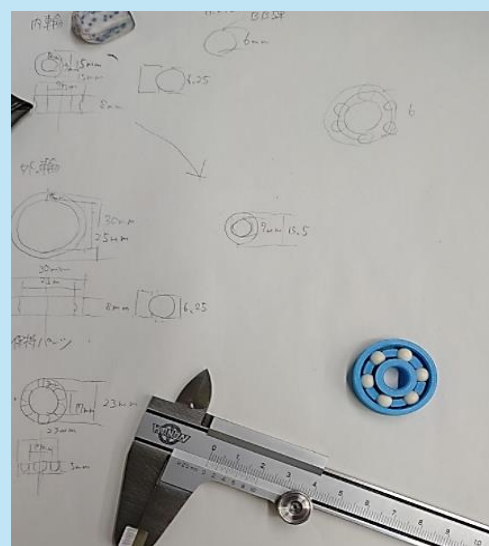
4 気筒 ENGINE modeling & 3DPRINT



周波数帯の異なるホイッスルを設計中



遊星歯車 modeling & 3DPRINT



ベアリング modeling & 3DPRINT

生徒たちは、3DSCANNER、3D プリンタ、シミュレーションアプリケーションなど多くのツールの使い方を、ネットなどで情報を収集しながら瞬時に吸収し、考案したものが、複数回のマイナーチェンジと仲間のアドバイスを取り込んだ形で具現化できる面白さと、自身の技術力が向上していくことを実感しているようで、それが彼らの原動力となっているようです。「無いものねだりではなく、有るもの活かし」と新技術も駆使しながら、毎日黙々と取り組む姿に、私もエネルギーをもらっています。多くの子供たちにいろいろな体験をさせてやれる環境づくりを継続したいと思います。（3DSCANNER 等の機器は、（公財）遠藤 齊治朗記念 科学技術振興財団、（公財）小川技術科学財団のご支援により購入させて頂いております。）

同期の仲間と（第 60 回高専祭）

44M（機械工学科 7 期） 飯沼義徳

高専祭初日 10 月 26 日（土）に同期の仲間とタイムカプセル収納品のクラス寄書きを確認するために展示会場である第二体育館に集合しました。

総勢 10 名（7 名（44M）、2 名（44A）、1 名（44C））が集まり、それぞれのクラス寄書きを眺めながらワイワイガヤガヤと 52 年前の高専生に戻り楽しいひと時を過ごしました。その後、伝統の「ちゃんぽ」（機械工学科 5 年生の催事）で、うどんを食しながらブツブツと・・・。

「俺たちの時は、五平餅、とろろご飯・・・等があった。」

「七味がない、お茶（水）が出てこない・・・。」

70 歳過ぎの年寄り連中が、大きな声でおしゃべりをして迷惑をかけたに違いありません。高専祭はコロナ感染症の影響で 3 年間一般入場者を入れなかったため「ちゃんぽ」も過去からの伝承が途絶えたようです。

8Mの皆さんが埋設したタイムカプセルのお陰で、久しぶりに同期の仲間と再会し 52 年前の学生時代に思いを馳せて、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

タイムカプセル搜索隊（8M）の皆さん。有難う！！



前列左から 村手(旧姓山本44M)、中村(旧姓安田44A)、山本(44A)、船戸(44M)、渡辺(44C)、飯沼(44M)、
後列左から中居(44M)、西村(44M)、寺倉(44M)、坂井(44M)



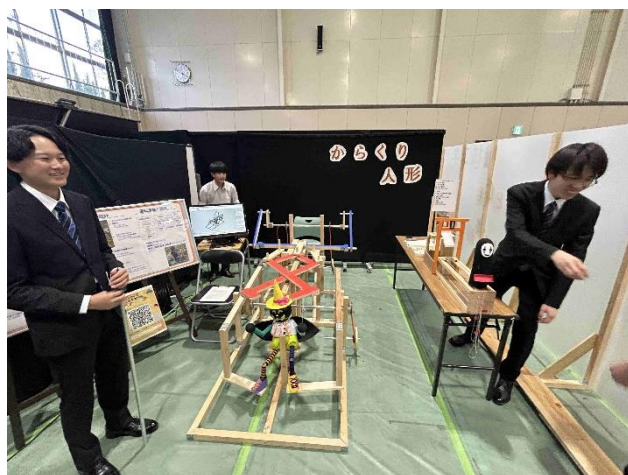
ちゃんぽ(機械工学科 5 年生催事)

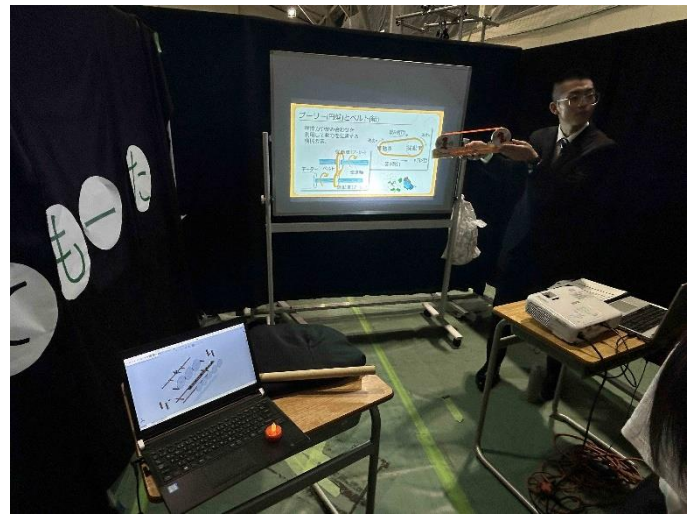
2024年度の高専祭の様子

25M 梅田 茂之

10月26日、27日の高専祭に行ってきました。今回の目玉であった8Mの皆様のタイムカプセルの展示の他、バザー、模擬店、ステージ企画、前中後夜祭とコロナ前の賑わいを取り戻し、活気に満ち溢れていました。

専門展では、機械工学科のブースを見学させていただきました。「円盤とひも」と題して、ヨーヨーやスケートのスピン人形などの原理となる慣性モーメントの解説や、プーリーとベルトによるブラックライトによる蛍光色を利用した「映える」展示、滑車を使ったエレベーター、マジックハンドを利用したからくり人形など、様々な機構を見て楽しめる演出に力を入れていたのが印象的でした。今日の学生さんたちはプレゼンテーション能力が高まり、見せ方や説明の仕方も自身の頃とはレベルが違って一般人には難しい技術も解りやすく伝えており、感心しました。





シリーズ DX 行政のバグ (2)

ー縦割り行政の弊害、岐阜市役所と法務省ー

15 期 中尾 賢治

前回に引き続き、社会現象などをテーマにした、シリーズ DX 行政のバグというタイトルで問題点を紹介したいと思う。今回選ばせていただいたテーマは、巷ではよくある縦割り行政の弊害である。特に身近な市役所（岐阜市役所）と、皆さんにあまり身近ではないであろう法務省（岐阜地方法務局）の間に手続きするときの事例である。機械工学、電気工学専門の方には少しマニアックな内容ではあるが、土木、建築学科卒業生の中には、宅地建物取引士や建築士のかたもおられるので、割と身近かもしれない。

さて筆者は、対象を問わず何でも DIY (Do It Yourself) が趣味なので、自宅建築時の表示登記や保存登記を始め、土地売買の権利移転登記、親が亡くなった時の相続登記などもほぼ自分でやってきた。やり始めた 1997 年当時は法務局のムラ（司法書士と、ほぼ無試験で司法書士になれる法務局職員の業界を指す）の抵抗勢力に阻まれて、登記するのも大変だったが、今はネットで何でも解説されているのでかなりハードルが低くなっている。

私は岐阜市内で事業用の土地を数年前に仕入れたが、田圃だったので、前所有者に農転してもらって移転登記を済ませた。それゆえ雑種地になっているとばかり思っていたが、最近になって不動産の課税明細を確認して「田」のままであることに気が付いた。今の事業を続けるなら問題ないが、他人へ売却するときに農地だと問題が生じるので地目変更登記を行うことにした。

まずは、岐阜市役所の農業委員会にて、田圃から雑種地に農転しましたよ、という証明書をもらわないといけない。この証明書、「農転が取り消されていない証明」というらしい。取ってつけたような名前であるが、問題なく発行された。

次に岐阜地方法務局にて地目変更登記である。以前は、登記申請書の雛型をダウンロードして印刷後に法務局へ持参していたが、どうも最近はオンライン電子申請を推奨しているらしいとのことでこれに挑戦することにした。e-Tax などもあるので個人番号カードは持っており環境的には問題ない。法務省のサイトでやり方を調べ、オンライン申請を開始した。

ところが、農業委員会で発行してもらった土地の住所を入力してもヒットしない（該当する土地がない）のだ。土地の地番は、毎年固定資産税を支払っているのでも明細を確認しているし間違えてはいない。いろいろやり直したりしてもダメだった。

そこで、ヘルプデスクに電話した。国税庁と違って込み合うシーズン（確定申告期日前）というのが無いのか、スムーズに電話がつながった。

証 明 書

1. 農地法 5 条許可 所有権移転
2. 許可年月日 平成27年7月29日
3. 許可番号 岐農委指令5-28
4. 申請地

農地等の所在地	地目	面積 (㎡)
岐阜市折立町5丁目	田	622
以下余白		

5. 転用目的 太陽光発電施設
6. 貸人（渡人・申請人）住所：岐阜市折立町5丁目
氏名：中尾 賢治
- 借人（受人）住所：岐阜市折立町5丁目
氏名：中尾 賢治

岐阜市農委証明第 466 号
上記の許可（届出）は取消されていないことを証明する。
令和6年1月4日

岐阜市農業委員会
会長 栗本 恒雄
岐阜市農委証明
会長之印

農転が取り消されていない証明

私：地目変更したくて、農業委員会でもらった地番を入れても該当がない、と出るんですが？

ヘルプデスク：市町村名の後に大字を入れてみてください。

（パソコンで、大字を入力したら該当した！自分の土地が出たのだ！）

私：何故、農業委員会の公的書類のそのままを入力してもダメなのですか？

ヘルプデスク：よくそういった問い合わせを受けるのですが.....

ここで文句を言っても仕方がないので電話を切り、オンライン申請を完了させた。だいたい、こういう障壁（私は、縦割り行政の障壁だと思っている）があるから、一般庶民の多くは、根負けして、高い手数料を支払って、司法書士に頼んでしまうのだろう。はっきり言って不動産登記の内容は中学生レベルに近いものだ、とまで言うとは司法書士に怒られそうなので、長年の経験上の推測が必要な書類項目なんだということにしておく。

提出番号：20240117016838001



登記申請書

登記の目的
地目変更
5条許可 証明書
届付情報
令和6年1月17日申請
岐阜地方法務局（登記所コード：2000）
申請人
岐阜市田口
中尾 賢治
連絡先の電話番号
登記完了証の交付方法
登記所での交付を希望する

申請物件（No. 1）

土地 岐阜県岐阜市大字折立 不動産番号：-

土地の表示				
所在	岐阜県岐阜市大字折立			
地積測量図番号	①地番	②地目	③地積(㎡)	④用途及びその日付
		田	622	
		雑草地	622	5条許可 平成27年7月29日

これで申請前手続きが完了したので、農業委員会発行の証明書原本を持参して岐阜地方法務局に出かけた。窓口で今後の手続きを案内され、登記手数料として印紙が必要かと思ったら、地目変更登記は無料だった。担当者に証明書原本を渡して、申請の控え（登記済証を受け取るのに必要）を受け取った。この申請をするのに、上記の経緯があったので、一言、言わせてもらった。

登記申請書(地目変更)

私：市役所の書類の通りに入力してもヒットしなかったがどうということか？

担当者：お客様のご意見は必ず上司に伝えます。（マニュアルにそう書いてあるのだろう）

私：あいまい検索で候補を出すようにすれば済む話ではないのか？

担当者：（同じようなマニュアル回答）

私：あいまい検索というのを職場提案してくれ、もし採用されたら、担当者さんと私の共同提案というのはどうだ？

担当者：（笑っていた）

しかし、こんな事例、よく問い合わせがあるのなら、市町村か法務省のどちらかが歩み寄ってデータ表記統一すれば問題ない話であるし、あいまい検索というのは検索エンジンでは当たり前ではないのか？

今回の事例は、典型的な縦割り行政の弊害であると思う。もし、読者の中で、今後、省庁をまたがって書類申請するのであれば、十分ご注意ください。

第2回高専人会 沖縄大会

6M 太田哲也

9月15日に開催される予定だった第2回高専人会は台風のため延期されました。機楽会から4名参加予定でしたが、式典が延期になったため2名がとりやめ飛行機が飛ばば行こうと思っていた二人（太田哲也&若井政伯）は沖縄に行きました。

懇親バーベキューは自由参加で開催されましたので出席しました。参加者は50名ほどで、半数以上が現役の学生でした。今回の参加費は学生無料だったのと沖縄高専の協力があつたので地元の参加が多かったのでしょう。私のテーブルは若い人ばかりで長岡高専からの参加でした。

同窓会としての情報は得られませんでした。全国の高専OBと一緒に何かやりたいという人達が立ち上げた会です。

今回は自費で参加しましたが、今後、機楽会として交流ができればよいと思います。



現役の学生と専攻科の学生。右はフィナーレの盛り上がり風景

第3回高専人会の予定

2025年3月15日 グラングリーン大阪北館のオープンイノベーション施設「BloomingCamp」（運営：さくらインターネット）にて、高専人会総会「KOSEN-JIN SUMMIT 2025」を開催いたします。

MECAD ゴルフコンペ

遠くの台風と秋雨前線の影響で未明までの雨は上り 絶好のゴルフ日和となった 10 月 30 日、「ぎふ美濃ゴルフ倶楽部」で開催されました。

まだまだ元気なラフに手こずりながらも、色づき始めた紅葉をめでながらの丘陵コースは格別でした。

参加者は M7 名、E3 名、D1 名の 3 組 11 名で、和やかな雰囲気で行われました。

競技はダブルペリア方式で、

優勝は 向井軸郎 (M3)・準優勝 小塚遊星 (M6)・3 位 寺倉敏明 (M7)



ぎふ美濃ゴルフ倶楽部クラブハウス前にて

次回の MECAD コンペは次を予定していますので、ご案内いたします。

日時 : 12 月 18 日 (水)
10:20 ~ スタート

場所 : 岐阜関カントリークラブ
岐阜県関市山田芳洞 1691-1

その他 ・5 組予約
・キャディー付き

出欠の連絡は 11 月 25 日までに、本メールでの返信、またはラインでお願いします。

幹事: 向井 軸郎
(090-2181-1243)



72歳を過ぎたのに食欲旺盛で体重が増えました。83.8kgになりました。10kg減量しないと思っているこの頃です。ゴルフのスコアにも影響しているようで、10月のゴルフは最悪でした。

6M 太田哲也



ブラジル、アルゼンチン、ペルーに行ってきました。お土産のコーヒー楽しみにしてください。

9M 若井政伯



庭に柿の木が1本、今年は裏年にあたるものの1個も実がなりませんでした。昨年暑く夏でしたが、紙袋に5杯くらいの収穫はありました。毎年の酷暑で柿の木もバテているのでしょうか。

9M 熊田 進



最近、健康マージャン教室へ通い始めました。ほとんどが70歳以上なのですが、3回目で箱天にされました。老人なめたら怖いですね。

15M 中尾賢治



10月25日(金)26日(土)の両日、岐阜メモリアルセンターで開催された、ものづくり岐阜テクノフェアに岐阜高専地域連携協力会が出展をしました。私は説明員として参加してきました。来場された皆様ありがとうございます。

19M 鈴木宏治



高専祭には多くのOB,OGに来ていただいたようで、私も卒業ぶりに会う卒業生と話しをすることができました。自分自身も先日、出身大学の学祭に卒業ぶりに行って当時とあまり変わらない雰囲気を楽しんできました。

24M 山田実



沖縄の高専人会、娘と一緒に参加予定でしたが、台風で延期となり娘の初めての沖縄旅行も流れました。高専人会は3月15日に大阪開催となりましたが、沖縄旅行のリベンジは避けられそうにありません…(汗
逆に、高専人会にちゃんと来てくれたらリベンジ企画する感じ?!

25M 梅田茂之



2024年も残すところ約2カ月。多くの方々、特に編集委員の大先輩方には大変お世話になりました。感謝致します。幸せの【「は行」は：半分でいい、ひ：人並みでいい、ふ：普通でいい、へ：平凡でいい、ほ：程々でいい】
リラックスして2025を迎えたいと思います。

32M 増井勇一郎

発行日／2024年11月20日

責任者／飯沼義徳

発行／岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343

<http://gifu-nct.com/>